

---

# サクラ

アサカ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

サクラ

### 【Zコード】

N6485D

### 【作者名】

アサカ

### 【あらすじ】

高熱のサトシは、大きなサクラの木がある桜木病院に入院した。そこのサクラの花は、死者がでないと赤く染まらないらしい。サトシは、そのサクラの花を自分の真紅の血で染めることになるのだろうか・・・?

## プロローグ 噂のサクラ

ある所に、「桜木病院」と言う病院があつた。その病院の名前の由来は、病院の庭にある桜の大木があるからだ。病院を造つた時にはただ単に桜の木があるだけだつたが、その桜は、病院で一人でも死者がでないと、白い花だつた。だが・・・死者がでると、その死者の血の色のように真紅に染まるのだ。

「サトシ君、ここがあなたの病院よ。」

ある冬の日、サトシという男の子が桜木病院に入院した。サトシは、最近高熱がひどく、市内の病院では無理と言つた上で、熱が下がつてゐるこの日に、ここに来たのだ。

「母さん、僕・・・」

サトシは、何かを言おうとしたが、途中で、口もつた。

「大丈夫よ。きっと、ここのお医者さんが治してくれるからね。」もちろん、二人は桜のことも、何もかも知らなかつた・・・。

「・・・サトシか。」

サトシと、サトシの母親を、噂の桜の木の枝に上手く立つて見下ろしていたのは、

以前、こここの病院で兄を失つた、灰音だつた。

「ここで・・・赤い桜を咲かすのかな。」

そつそつぶやいて・・・。

## プロローグ　尊のサクラ（後書き）

『サクラ』プロローグお読みいただき有難うござります！！  
これから、サトシは・・・。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6485d/>

---

サクラ

2011年10月4日19時40分発行